

フローティングディスクローター（ウェーブ形状）取扱説明書

製品番号 06-08-0163

適応車種	PCX	(JF28-1000001 ~) (JF56-1000001 ~)
	PCX150	(KF12-1000001 ~) (KF18-1000001 ~)
	Dio110	(JF31-1000001 ~)
	GROM	(JC61-1000001 ~ 1299999) (JC61-1300001 ~) (JC75-1000001 ~)
	MSX125	
	MSX125SF	
	モンキー 125	(JB02-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル (MLHJB02) (MLHJB03)	

※各車両 ABS 車を除く

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが悪い状態です。当たりが出るまでブレーキの効きに十分注意しながら走行を行って下さい。

◎新品状態で行き成りハードブレーキ操作を行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にブレーキディスクに当たりを付け、一旦ブレーキ温度を冷ませます。ディスクローターとブレーキパッドが完全に当たりが付くまでこの操作を行って下さい。

又、ブレーキは冷えている場合効きが悪い状態で、ある一定の温度に上がらないと安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。

◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎モンキー 125 ABS 車は、形状 (PCD) が異なる為、取り付け出来ません。

～特徴～

○インナーディスク部をアルミ製とする事で純正ローターの1ピースタイプに比べて軽量化されています。

○ブレーキング時、ローター本体に熱が生じると摩擦面の精度が低下し、ディスクローターの性能低下を引き起こす事がありますがフローティングローターの場合、ホイールハブと摩擦面を切り離す事で熱変形を最小限に抑さえ、安定したブレーキング性能を維持する事が出来ます。

フローティングディスクローターの摩擦面には錆びに強く、耐久性に優れたステンレス鋼を採用。

○ウェーブ形状を採用する事によりブレーキパッドに付着したダストや水滴を掻き出す効果が制動力が増大します。

○ノーマルのディスクローターと交換するだけで使用出来、キャリアーの変更が必要無くお手軽にお楽しみ頂けます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。

■損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

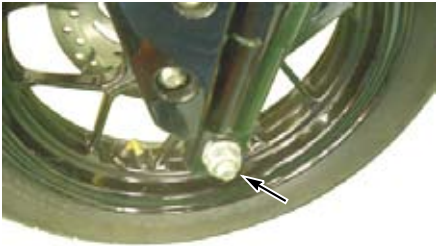
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



部品名	個数
ディスクローター	1

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

1. アクスルナットを緩める。



Dio110の場合

突起部を押しスピードメーターケーブルを引き抜く。



2. 水平な場所でメインスタンドを立て、ジャッキ等で支えてフロントホイールを浮かせる。

3. アクスルナット、フロントアクスルを外し、フロントホイールを取り外す。



4. ブレーキディスクソケットボルトを取り外す。



5. レーザーマーキングがある面を上に向けて新品のフローティングディスクローターをホイールに取り付け、ブレーキディスクソケットボルトを規定トルクで締め付ける。

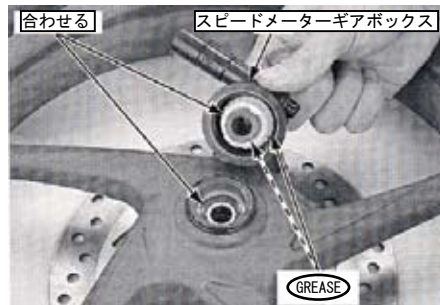
⚠ 警告：取り付け前に必ずディスクローターを脱脂する事。
ディスクボルトを再使用する場合、ネジロック剤の塗布をお願いします。
推奨ネジロック剤：ロックタイト 241

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブレーキディスクソケットボルト
トルク：42N・m (4.3kgf・m)



Dio110の場合

溝部をリテーナーの突起部に合わせてスピードメーターギアボックスをホイールハブに取り付ける。



6. フローティングディスクローターをブレーキパッドの間に、スピードメーターギアボックスの溝部をL. フロントフォークのストッパに合わせ (Dio110の場合)、フロントホイールを取り付ける。

7. アクスルシャフト摺動部に薄くグリスを塗布し、取り外しと逆手順でフロントフォークにフロントホイールを取り付け、フロントアクスルを規定トルクで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フロントアクスル
PCX/Dio110
トルク：59N・m (6.0kgf・m)
GROM/MSX125
トルク：54N・m (5.5kgf・m)
モンキー125
トルク：69N・m (6.9kgf・m)
モンキー125 タイモデル (MLHJB02)
トルク：69N・m (6.9kgf・m)
モンキー125 タイモデル (MLHJB03)
トルク：59N・m (6.0kgf・m)



Dio110の場合

スピードメーターケーブルの突起部をギアボックスの穴に合わせてスピードメーターケーブルを接続する。



8. 各部の締め付けを確認しブレーキの作動を確認する。

※走行前に必ず安全な場所で試運転を行う事。